

ちしきのもり
シリーズ最新刊

みどり色に見えるけど、
どうして“黒板”って
いうの？

板なのに
磁石が使えるのは
なぜ？

みんな知ってるかな？
黒板のひみつ

どうして黒くないのに黒板なの？

加藤 昌男 著

- A5判／本文144ページ・図絵4ページ／
本文モノクロ・図絵カラー／ハードカバー
- ISBN978-4-87981-804-1 ■NDC372
- 定価1,760円（本体1,600円）
- 読者対象：小学校中学年以上

黒板が日本の学校で使われるようになったのは今から150年ほど前。毎日の授業になくてはならない黒板の歴史から、色について、よい黒板とはどんなものか、やってはいけないこと、そして進化している電子黒板などを解説しています。

5月9日は
黒板の日！



目次

- 第1章 黒板の色のなぞ
はじめは「黒い板」だった、黒板はいつどこで生まれたの？、職人さんのワザがつまった国産黒板、グリーン黒板の登場 他
- 第2章 学校と黒板
よい黒板とは？、上手に文字を書くコツ、先生たちの「板書」の工夫、チョークと黒板消し 他
- 第3章 黒板のトリセツ
黒板は何からできているの？、黒板を長持ちさせるには？、「黒板」vs「ホワイトボード」、やってはいけないこと 他
- 第4章 黒板の未来を考える
電子黒板で授業が変わる、「黒板」vs「電子黒板」、黒板は将来いらなくなる？ 他



● せいかつの子どもの調べ学習で、黒板について調べたくても、黒板のことをきちんと解説した本がないんです…という小学校の先生のお話から生まれた本。子ども達にとって身近な黒板。調べ学習や自由研究にもおすすめです！



■A5判/本文144ページ・口絵4ページ/モノクロ/ハードカバー ■各巻定価1,760円(本体1,600円) ■読者対象:小学校中学年以上

教育出版・小学6年生国語

もしもトイレがなかったら



加藤 篤 著
 ■NDC528
 ■ISBN978-4-87981-728-0
 災害時に最も困ること、それは水でも食べ物もなく、トイレです。そんな大切なトイレについて、歴史やマナー、設備、災害時のトイレ事情や汚水処理のこと、感染症までをも網羅した一冊です。

光村図書・小学5年生国語

「いただきます」を考える



生源寺 眞一 著
 ■NDC611
 ■ISBN978-4-87981-693-1
 一つ一つの食べ物は、わたしたちの食卓に上るまでに長い長い旅をし、たくさんの人たちの努力に支えられています。大切な食べ物とそれを生産する農業について、いっしょに考えていきましょう。

教育出版・小学5年生国語
 東京書籍・小学4年生(下)国語

「感じ」が伝わるふしぎな言葉



佐藤 有紀 著
 ■NDC814
 ■ISBN978-4-87981-658-0
 わんわん、ぴたっ、かつかつ、じーん……これらはみんな「擬音語・擬態語」とよばれる言葉です。短いフレーズなのに、何故か「感じ」や「気持ち」がうまく伝わる「擬音語・擬態語」を使いこなして、日本語の達人を目指しましょう!

光村図書・小学5年生国語

町工場のもものづくり



小関 智弘 著
 ■NDC509
 ■ISBN978-4-87981-486-9
 すべてがマニュアル化され、実体験を通して自分自身で考えることが少なくなっていると言われる現代の子どもたち。自ら考え、工夫しながら働くことの大切さと、そうすることによってこそ見えてくる働きがいについて熱く語ります。

少年写真新聞社の書籍は、全国の書店でご購入いただけます

◆注文書に数量・学校名(施設名)をご記入いただき、お取引の書店にお申し込みください。
 ◆ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

(株)少年写真新聞社

東京本部 〒102-8232 東京都千代田区九段南3-9-14 HF九段南ビル
 TEL03-5215-1250/FAX03-3264-6212

取扱店名

ISBN 下4ケタ	書籍名	数量
804-1	新刊 どうして黒くないのに黒板なの? 定価1,760円(本体1,600円)	
728-0	もしもトイレがなかったら 定価1,760円(本体1,600円)	
693-1	「いただきます」を考える 定価1,760円(本体1,600円)	
658-0	「感じ」が伝わるふしぎな言葉 定価1,760円(本体1,600円)	
486-9	町工場のもものづくり 定価1,760円(本体1,600円)	

(株)少年写真新聞社	注文書	学校(施設)名	年 月 日 御担当 様
	番線(帖合)印		
		備考欄	